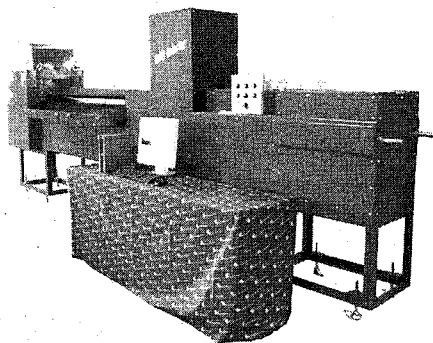


## 対象を選ばない選別装置 「マルチセレクター」

根菜類の洗浄・皮むき機械の製造・販売のエフ・イー（佐々木通彦社長）が、このほど経済産業省が主催する「ものづくり日本大賞」で、ものづくり地



光学式選別装置「マルチセレクター」

域貢献賞（北海道経済産業局長賞）を受賞した。

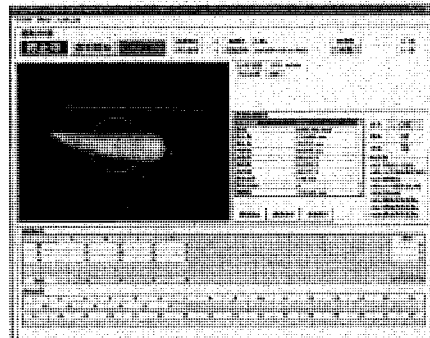
受賞の対象となったのは多品目に対応可能な光学式選別装置「マルチセレクター」の開発。カメラセンサーで、ジャガイモやニンジン、トマト、ナス、タマネギなど、色や形状を選ばず、最大幅九十ミリ、長さ三百ミリの範囲内で、その面積や最大長、直径

などを一瞬にして計測し、選別する機器だ。

ベルトコンベアで運ばれてきた野菜が、マルチセレクターを通過する時、目的に合った大きさや長さで自動的に計測・選別され、その数もカウントされることから、大幅なコスト削減に貢献する。

佐々木社長は「選別に人手がかかり大変。何種類もの根菜類や果物を選別できる機械はないものか」という農家の声に答えようと、一年半ほどをかけて開発しました。選別する

ニンジンを一瞬にして面積、最大長、直径などを計測して選別する



対象を選びませんし、面積や長さはもちろん、野菜の曲がり具合による選別も可能です。選別の人手が不要ですから、大幅なコスト削減につながります」と説明する。

また佐々木社長は「あまり知られていませんが、当社は集荷された根菜類が洗浄・選別され、出荷されるまでのプラント事業も、他社と連携して手がけています」と話し、マルチセレクターの開発で、このプラント事業の販路拡張にもつながるとみられる。

すでに、道内外から注文が入っていて、製造を加速させているという。